

日 時：2008 年 6 月 27 日（金）18：30～20：30

会 場：練馬ボランティア・市民活動センター会議室

1. 新委員の委嘱について

2. 常務理事挨拶

昨年まで説明も長く、意見をいただく時間がなかったとの意見をいただいていたため、今回は資料も少なめにし、説明も短くまとめて皆様からのご意見をいただく時間をとりましたので、よろしくお願ひします。

3. 本日の会議の進め方について

資料説明

4. 推進事業 P T および委員会の活動について

参考資料：「P T ・委員会による課題の取組」

( 1 ) 事業推進 P T ・委員会の推移および現在進行中の P T ・委員会、P T ・委員会の名称についての説明

( 2 ) P T ・委員会説明

課題調整委員会・広報委員会・拠点 P T ・外部研修体系化 P T

( 3 ) 質疑応答

➤ 課題調整

- ・「親なきあと～」にした理由は？「親あり」から考えて、その後「親なき」になるのではないか？ 事例検討でもあったが、親が生きると親に頼ってしまう事もある。なかなか伝わりづらい事なので、伝わりやすくするためと、危機感を持ってもらうためにあえてこの「親なきあと」とのフレーズを使っている。
- ・今後はどのような形にしたいと考えているのか？ プログラム化することが最終だが、他の団体等を勉強した上で社協独自のプログラムが考えられたらと思っている
- ・社会貢献型後見人の養成を区から要請されているはず。需要は高いと思われるので、社協として積極的に事業として行って欲しいと思うが…。 P T や委員会には入っていないが、部署の計画には載っているの、この後に説明の予定。

➤ 広報

- ・ガイドブックとリーフレットとの違いは？ ガイドブックは、リーフレットより具体的で細かい内容を入れたもの。Q & A などを入れて、会員や民生委員などに活用してもらえような内容のものにしたいと考えている。
- ・今年度の達成目標であるガイドブック・キャラクターの作成は、目標となって終わらせるものではなく、これを生かしてどう広報活動を行うかが必要なのではないか。キャラクターを作るだけでなく、キャラクターを募集することによって、区民に知ってもらうきっかけにし、社協に興味を持ってもらえればと考えている。
- ・西東京市では社協の掲示板がある。社協協力者に協力してもらって掲示板や回覧板の有効活用を考えてはどうか。可能な限り対応したいと考えている。今後は、ホームページだけではなく、いろいろなツールを使った広報活動を行っていきたいと考えている。
- ・広い視野でいろいろな媒体を考えていただきたい。

➤ 外部研修

- ・研修の洗い出しを始めたとの事だが、全部署でどの位の数の研修を行っているのか 50 講座程度。
- ・最終的には、区民向けの研修の体系化まで考えているのか まとまれば、区に情報を提供し

ても良いのではと考えている。

- ・一般区民に参加してもらうように中長期的な広報活動をお願いしたい。

## 5. 地域福祉活動計画の取組状況について

参考資料「地域福祉活動計画の取組状況」

網掛け部分が重点事業のため、この部分のみを説明。

### (1) 質疑応答

- ・もう少し大きな規模で社会貢献型後見人の育成はできないのか。その時代に求められているものに重点的に対応すれば、社協の存在感を上げることができるのではないだろうか。今までの実績を考えると社協が適していると思われるが 5月現在、都内で16人の方が社会貢献型後見人により制度を利用している。都で養成事業が始まり3年になるが、家裁と都、関係機関の調整が必要な部分も多く、調整を行いながら進めている状態。親族や専門職ではない第三者が対応する事から、慎重にならざるを得ない状況があるが、推進機関である社協が後見監督人となりバックアップ体制がとれば社会貢献型後見人として受任が可能という見解があり、今年度その体制を整えていきたい。
- ・このような制度があることをPRするのも社協の役割なのでは 関係機関、行政と連携し、養成研修参加者が実際の活動を行う環境を整え、システムを作っていきたいと考えている。
- ・かなり慎重な対応がなされているのが現状。利用者の権利を守るバックアップをしていけるようなシステム作りを社協が行っていくことが重要と考える。
- ・意欲がある人が活動しやすい環境作り、システム作りを社協でやっていただきたい。
- ・うまくいった事例が出れば貢献型後見人を利用する人が急激に増加する可能性がある。増えたときに対応できるよう育成する必要がある。 利用者の権利を守るバックアップをしていけるようなシステム作りを社協が行っていくことが重要と考える。
- ・5ページの「I'm OKの会」の説明は正確ではないのではないかと。社協の成果としてあげるは違うのではないかと。きっかけとなる講座を開いたのが社協であって結成については違う。誤解を招く表現になってしまい申し訳ない。

## 6. 区の地域福祉計画について

参考資料「練馬区地域福祉計画の見直しについて」

社協が入る意義；区の事業とかぶっている部分が多いと思うので、整理して良い住み分けができればと考えている。できるだけ連携を図って行きたい。

社協職員は区の活動団体との関わりが深いので、生の声を聞けるのではないかと考えている。

### (2) 質疑応答

- ・今後、議事録の提供等を考えていただければと思う。

## 7. 次回の推進評価委員会に向けて

どういった視点で見直しを行うのか？

活動計画作成時と今の福祉を取り巻く状況の変化がわかるような資料の提供をお願いできれば。

## 8. 次回の日程について

(1) 日時：12月5日(金) 18:30～

(2) 内容：地域福祉計画の見直し等